

平成 29 年度「海の安全運動」受賞団体

1	団体名	横須賀エフエム放送株式会社
	件名	広報活動
	地区名	横須賀地区海上災害等対策協議会
	功績の内容	<p>横須賀エフエム放送株式会社は、海の安全運動推進連絡会議の活動趣旨に理解を示し、FMブルー湘南においてマリンレジャーが活発化する毎年4月から9月の間、海難防止の啓発活動を積極的に発信するために「海上保安庁横須賀海の安全インフォメーション」という午前9時から5分間の放送枠を設けて、番組開始から現在に至る4年間にわたり継続して放送を実施している。</p> <p>放送の回を重ねたことにより、リスナーからの関心も高まり、読売新聞、タウン誌、コミュニティ誌「はまかぜ」から「横須賀海の安全インフォメーション」の取材を受け、同新聞等に掲載されるなど反響が大であり、効果的な広報を実施した。</p>
2	団体名	御前崎マリクラブ
	件名	他団体と連携した活動により、効果的な海難防止活動等を展開した団体等
	地区名	清水地区海の安全運動推進団体御前崎マリクラブ
	功績の内容	<p>御前崎マリクラブは、海の安全運動の趣旨を理解し、関係機関は基より、地元漁協や小中学校関係者と連携し、漁業者や若年層の事故防止思想の普及やライフジャケット着用の必要性を呼び掛けるなど安全意識の高揚を図っている。</p> <p>特に、別添「毎年実施業務一覧」のとおり、各種イベントにおいて、安全指導及び啓発に傾注しており、特に平成20年から継続実施されている御前崎ビルフィッシュトーナメント、御前崎市ドラゴンボート大会、近隣小学校へドラゴンボート体験乗船会においては、御前崎海上保安署と連携して安全啓発活動を実施するほか、同イベントの海上警戒業務では、長年の経験からその手腕も高く、接近船舶への対処が適時・適切であり、各イベントにおいて、開催開始から現在に至るまでの間、長年にわたり事故等の発生を未然に防止し、イベントを成功裏に導き、開催自治体や団</p>

体等から高い評価を受けている。

また、平成25年から現在まで、官民合同水難救助訓練においては、警戒業務のほか、自ら訓練内容を提案する一方、御前崎海上保安署と連携し訓練に参加するなど積極的な姿勢は、高く評価される。

3 団 体 名 東京夢の島マリーナ

件 名 「海の安全運動」の模範となる海難防止活動の実施

地 区 名 東京地区海の安全運動推進連絡会議

功 績 の 内 容 東京夢の島マリーナは、東京地区最大規模のマリーナであり、マリーナホームページ等を活用した海の安全運動を積極的に展開するほか、約 600 名の会員に対してダイレクトメールによる安全啓発や情報提供を実施している。

また、会員及び一般市民を対象とした安全意識の高揚及び海難防止活動に特化した安全フェスタを自ら企画し、実施に際しては、東京海上保安部、公益社団法人関東小型船安全協会、公益財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会の関係機関・団体等に連携・協力を呼びかけ、落水者救助訓練や講習等を計画実施した。

さらに、関係機関等から海難の防止に必要な安全情報(海上工事・行事、航泊禁止、事故防止に関する注意喚起等)について、積極的な情報収集を行い、ホームページやダイレクトメール等を利用するなどして、安全情報の積極的な発信を行っているほか、他団体と連携した合同パトロール及び安全啓発活動を積極的に展開している。

以上のとおり、関係機関等との連携ほか、効果的な活動方法を取り入れ、「海の安全運動」の模範となる安全意識の高揚及び海難防止活動を展開したものである。